

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● 令和5年度通常総会・記念講演会を開催しました

6月23日(金)、会員企業・団体から計84名が出席し、岐阜グランドホテルにて岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム令和5年度通常総会・記念講演会を開催しました。

冒頭、涌井理事長から、「5月に一般社団法人プラチナネットワークにおいて森林資源の活用を考えるシンポジウムが開催され、石油からバイオマス科学への転換、木造都市への展開、森林林業の革新の3つの基本戦略が提言された。コンソーシアムとしても、木材を中心とした技術開発に加え、二酸化炭素吸収源など森林が有する公益的機能に新たな経済価値を創出するため、積極的に国内外問わず、先進事例調査や各種勉強会、交流研修活動など森林・林業の課題解決に向けて尽力を尽くしたい。」とあいさつをいただきました。

通常総会では、令和4年度の事業実績・収支決算、令和5年度事業計画(案)・収支予算(案)の4つの議案について全て原案通り承認されました。

承認された事業計画に沿って、共同研究活動や交流活動などを展開してまいりますので、会員の皆様の積極的な参加をお願いします。

総会に続き、近畿大学農学部環境管理学科の松本光朗教授から「カーボンニュートラルに向けて岐阜県の森林・林業・木材産業は何ができるのか」と題して講演いただき、森林による吸収量獲得と木材利用による搬出削減対策を進めることが大切と提言されました。

会場ではハーベスタシミュレーターによる伐採体験などスマート林業の体験、ヤマハ発動機(株)様の産業用無人ヘリコプターによる森林計測サービスの紹介などを行いました。



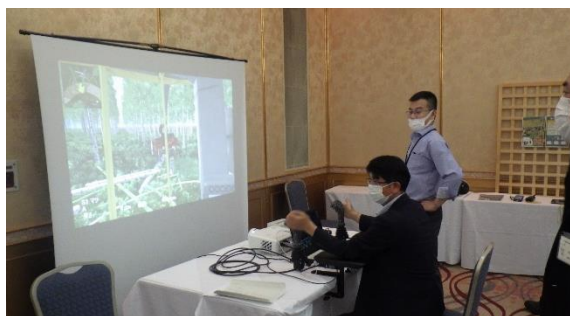
涌井理事長によるあいさつ



松本光朗教授による記念講演



会場の様子



ハーベスタシミュレーターによる伐採体験



ヤマハ発動機(株)様による展示

● 「林業事業体経営研修～施業集約化×事業体会計～」1日コースを開催しました

令和5年6月29日（木）、作業の効率性や収益性を考慮した現場管理ができる中核的な森林技術者を育成するため、「林業事業体経営研修～施業集約化×事業体会計～」の1日コースを開催しました。

当研修は、鹿児島大学が実施している出前講座「施業集約化と事業体会計」のカリキュラムを取り入れたもので、(株)鹿児島総合研究所の新永代表、鹿児島大学の奥山氏を講師としてお迎えしました。

本年度は、2回に分けて研修を行う計画としました。

1日コースの研修には8人が参加しました。今回は導入編ということで、費用構造と損益分岐点の検討、決算書の基本構成と事業収支・コスト管理の繋がりを理解するというものでした。

ワークショップでは、林業機械カードを使ってどのようなシステムで林産を行うのか、作業員は何人必要かなど、参加者それぞれ事業計画と収支を計算しました。収支計算を行うにあたり、機械の減価償却や事業単価の設定、粗利益の考え方など、実際に林産事業を行うのに必要な費用の計算を行いました。

その中で、どれくらい森林所有者へ返すのか？再造林費用はどうするのか？など森林所有者への利益還元の方法についても説明をいただきました。

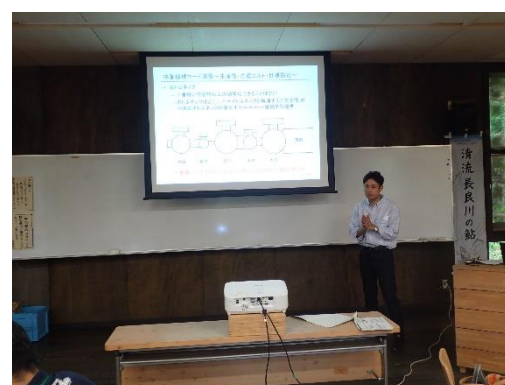
また、損益計算書のどの部分に注目したらよいかなど、決算書の見方も分かりやすく説明していただきました。

参加者からは、講師の説明が丁寧で分かりやすかった、今後の業務に大変役に立つ内容と好評をいただきました。

次回は10月31日から11月1日の2日間の研修となりますが、1日コースのおさらいから始まりますので、次回の参加からでも何ら支障ありません。模擬団地による集約化と事業収益をシミュレーションする内容ですので今後の業務に非常に参考となる内容になりますので、是非ご参加ください。多数のご参加お待ちしております。



奥山先生の講義



新永代表のワークショップ



作業方法の検討

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行： 岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）

〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529

E-Mail: gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp